

登録販売者合格講座 ミニ講座

漢方薬に慣れる

芍薬甘草湯

(シャクヤクカンゾウトウ)

芍薬甘草湯（シャクヤクカンゾウトウ）

～アフロ先生の解説からピックアップ!!～

・体力に関わらず、筋肉の急激な痙攣に伴う痛みのあるものこのむらがえり、筋肉の痙攣、腹痛、腰痛に適すとされています。ただし、症状があるときのもの服用にとどめ、連用は避けます。

・カンゾウを含む。

以下の漢方処方製剤に関する記述について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 体力に関わらず、筋肉の急激な痙攣(けいれん)を伴う痛みのあるもののこむらがり、筋肉の痙攣(けいれん)、腹痛、腰痛に適すとされる。ただし、症状があるときのみの服用にとどめ、連用は避ける。

イ 体力中等度以下で手足が冷えて肩がこり、ときにみぞおちが膨満するものの頭痛、頭痛に伴う吐きけ・嘔(おう)吐、しゃっくりに適すとされる。

ウ 体力中等度で痛みがあり、ときにしびれがあるものの関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛に適すとされるが、消化器系の副作用(食欲不振、胃部不快感等)が現れやすい等の理由で、胃腸が弱く下痢しやすい人には不向きとされる。

1 (ア)芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう) (イ)呉茱萸湯(ごしゅゆとう)

(ウ)疎経活血湯(そけいかっけつとう)

2 (ア)十全大補湯(じゅうぜんたいほとう) (イ)呉茱萸湯(ごしゅゆとう)

(ウ)防己黄耆湯(ぼういおうぎとう)

3 (ア)芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう) (イ)温経湯(うんけいとう)

(ウ)防己黄耆湯(ぼういおうぎとう)

4 (ア)十全大補湯(じゅうぜんたいほとう) (イ)温経湯(うんけいとう)

(ウ)疎経活血湯(そけいかっけつとう)

5 (ア)芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう) (イ)温経湯(うんけいとう)

(ウ)疎経活血湯(そけいかっけつとう)

以下の漢方処方製剤に関する記述について、**正しい組み合わせ**を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア 体力に関わらず、筋肉の急激な痙攣(けいれん)を伴う痛みのあるもののこむらがり、筋肉の痙攣(けいれん)、腹痛、腰痛に適すとされる。ただし、症状があるときのみの服用にとどめ、連用は避ける。

イ 体力中等度以下で手足が冷えて肩がこり、ときにみぞおちが膨満するものの頭痛、頭痛に伴う吐きけ・嘔(おう)吐、しゃっくりに適すとされる。

ウ 体力中等度で痛みがあり、ときにしびれがあるものの関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛に適すとされるが、消化器系の副作用(食欲不振、胃部不快感等)が現れやすい等の理由で、胃腸が弱く下痢しやすい人には不向きとされる。

1 **(ア)芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)** **(イ)呉茱萸湯(ごしゅゆとう)**

(ウ)疎経活血湯(そけいかっけつとう)

2 **(ア)十全大補湯(じゅうぜんたいほとう)** **(イ)呉茱萸湯(ごしゅゆとう)**

(ウ)防己黄耆湯(ぼういおうぎとう)

3 **(ア)芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)** **(イ)温経湯(うんけいとう)**

(ウ)防己黄耆湯(ぼういおうぎとう)

4 **(ア)十全大補湯(じゅうぜんたいほとう)** **(イ)温経湯(うんけいとう)**

(ウ)疎経活血湯(そけいかっけつとう)

5 **(ア)芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)** **(イ)温経湯(うんけいとう)**

(ウ)疎経活血湯(そけいかっけつとう)